

2022年11月11日
作成者 渡辺洋一郎

プレミアグループ (東証プライム・7199)

- ◆ オートクレジット等を取扱う。25/3期に税引前利益100億円の目標を掲げる。
- ◆ 22/4~9期は17%増収、一時的な要因を除いた税引前利益+29%。中古車販売市場低迷の影響を受けながらも、クレジット取扱高は+14.0%と順調に拡大。
- ◆ 今23/3通期でも、効率的な経営による営業費用の抑制が引き続き期待できる。来24/3期業績も順調だろう。評価時期を来期に変更した。

株価レーティング
B+ → B+

目標株価
2,300円
(前回1,933.3円)

主要指標

株価(22/11/10)	1,862円
売買単位	100株
発行済株式数	40,185千株
PER(23/3期予)	17.8倍
PBR(22/3期)	7.4倍
ROE(22/3期)	34.8%
配当利回り(23/3期予)	1.1%
52週高値(22/9/16)	1,963円
52週安値(21/10/29)	1,025円

営業収益構成比

(22/3期)	
ファイナンス	65%
故障保証	21%
オートモビリティサービス	14%

◆ 25/3期に税引前利益100億円の目標を掲げる

中古車を中心にファイナンス事業(オートクレジット等)や故障保証事業を行う。新規事業としてオートモビリティサービス事業(業務用ソフトウェア販売、自動車卸売販売など)へも展開。22年4月よりカープレミア事業(会員組織の開拓/推進事業、自社整備工場の運営)を開始。クレジット債権残高は創業時(2007年)より毎年10%以上の成長率を実現する。規制のある銀行系の競合に対し、独立系である同社は、商品・提供サービス・販路に制約がない強みを活かすことで、シェア拡大が期待されよう。中期経営計画の目標は25/3期営業収益419億円、税引前利益100億円。

◆ 逆風下でも、クレジット取扱高は順調に拡大

22/4~9期は営業収益119億円(+17%)、税引前利益34.6億円(+81%)。タイの関連会社の過年度減損の戻入等による一時的な利益9.9億円があったが、それを除いたベースでも税引前利益+29%。中古車販売市場低迷の影響を受けながらも、販売店の有料会員化による囲い込み戦略が奏功し、クレジット取扱高は+14.0%、故障保証取扱高は+13.5%と順調に拡大した。営業費用の伸びを抑えたことで実質大幅増益を実現。故障保証で自社の中古部品の調達を推進したことによる原価率抑制に加え、有料会員囲い込みの仕組み化に伴う営業人員増の抑制、ペーパーレス促進による効率的な営業活動など、効率経営による成果が表れていると思われる。

◆ 効率的な経営による営業費用の抑制が引き続き期待できる

今23/3期会社計画は営業収益245億円(+17%)、税引前利益53億円(+32%)。一時的な利益9.9億円に対し、追加的なマーケティング費用3.9億円を使う予定であり、税引前利益は前回計画から+6億円の上方修正。

当社は営業収益251億円(会社計画比+6億円)、税引前利益56億円(同+3億円)を予想する。前回の当社予想は営業収益240億円、税引前利益50.6億円。22/4~9期の状況から、営業収益は中古車販売市場低迷の影響を跳ね返せそうだ。効率的な経営による営業費用の抑制が引き続き期待される。

◆ 来24/3期業績も順調だろう

来24/3期は営業収益296億円(+18%)、税引前利益62億円(+11%)を予想する。自動車生産回復に伴い新車販売が改善することで、中古車販売市場の回復が期待されよう。営業費用の抑制も続くと思われる。

株価レーティングは「B+」継続。目標株価は来期予想PER約20倍の2,300円。前は今期同約20倍の1,933.3円。良好な企業運営状況を背景に、来期も順調な業績となる確度が高まったと考え、評価時期を来期に変更した。

業績推移

単位：百万円、1株利益・配当は円

連結	営業収益	営業利益	税引前利益	利益	1株利益	1株配当
21/3期	17,825	—	3,463	2,383	186.7	46
22/3期	20,888	—	4,017	2,941	229.4	51
23/3期予	25,100	—	5,600	4,050	104.5	20
24/3期予	29,600	—	6,200	4,490	115.9	20

IFRS、予：当社予想、2022年9月1日基準日で1株→3株へ株式分割、予想1株利益・配当は分割考慮後

最終ページの重要な注意事項(リスクについて、手数料等の費用について)及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等/水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号

加入協会/日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

(審査部審査番号2211054号)

このレポートは投資判断の参考となる情報提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

投資判断

株価レーティングおよび目標株価は当該銘柄の今後6カ月間における投資判断です。「A」は「買い」、「B+」は「やや強気」、「B」は「中立」、「B-」は「やや弱気」、「C」は「売り」、「NR」は株価レーティングをしない場合です。なお本文中の「長期」は2年超5年以内、「中期」は6カ月超2年以内、「短期」は6カ月以内を指しています。

「重要な注意事項」

リスクについて

- ・ 国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券（以下「上場有価証券等」といいます。）の売買にあたっては、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動や、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品、カバードワラント等（以下「裏付け資産」といいます。）の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ 上場有価証券等のうち、他の種類株式、社債、新株予約権その他の財産に転換される（できる）旨の条件または権利が付されている場合において、当該財産の価格や評価額の変動や、当該財産の発行者の業務や財産の状況の変化に伴い、上場有価証券等の価格が変動することや、転換後の当該財産の価格や評価額が当初購入金額を下回ることによって損失が生じるおそれがあります。
- ・ また、新株予約権、取得請求権が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。
- ・ 新規公開株式、新規公開の投資証券についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等の費用について

- I 国内の金融商品取引所に上場されている有価証券等
 - ・ 国内上場有価証券等(転換社債型新株予約権付社債を除く)の売買にあたっては、約定代金に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。
- II 外国金融商品市場等に上場されている株式等
 - ・ 外国金融商品市場等に上場されている株券等の国内取次ぎ手数料として、海外精算代金（円換算金額）に対して最大1.265%（税込）〔手数料金額が2,750円（税込）に満たない場合には、2,750円〕の売買手数料をいただきます。外国株券等の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および租税公課その他の賦課金が加減されます。当該諸費用は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。また外国株券等の国内店頭取引にあたっては、所定の手数料相当額をご負担いただく場合があります。外国金融商品市場等に上場されている株券等は価格変動および為替の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- III その他
 - ・ 上場有価証券等を募集等により取得する場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ・ 上場有価証券等を当社との相対取引により購入する場合は、お客さまと当社が協議のうえ決定した手数料をいただきます。

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的とし、信頼できる各種データに基づき作成したものです。正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見・予測等は、作成時点における弊社判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。水戸証券もしくは水戸証券の役職員が、記載されている証券について、自己売買または委託取引を行うことがあります。水戸証券は、記載されている企業に対して、引き受け等の投資銀行業務その他サービスを提供し、かつそれらのサービスの勧誘を行うことがあります。なお、投資にあたっては、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、投資信託説明書（交付目論見書）や目論見書補完書面等をよくお読みください。

最終ページの重要な注意事項（リスクについて、手数料等の費用について）及び投資判断をよくお読み下さるようお願いいたします。

商号等／水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第181号

加入協会／日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

（審査部審査番号2211054号）